

# 平成21年度 第10回 真田地域協議会 会議次第

平成22年1月20日(水) 午後7時  
真田地域自治センター 301会議室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 真田地域自治センター長あいさつ

## 4 会議事項

(1) 真田地域協議会の意見書(案)の検討

(2) その他

## 5 その他

次回開催日(案)について

平成22年2月17日(水)午後7時~

## 6 閉 会

## 意見内容

### 真田地域における観光の推進に関する意見

～ 真田地域「地域まちづくり方針： 特色ある観光振興」の具体化について ～

#### 1 「真田氏発祥の郷」を活かした観光の推進

近年、テレビ放送・映画等において、真田氏に関連する史跡や施設が登場する機会が増え、真田の地を訪れる観光客が増加しています。この歴史ブームを好機として、昨年は住民有志らによる初の「真田行列ウォーキング」のイベントが開催されるなど、「真田氏発祥の郷」を活かした「地域まちづくり」の機運が住民に広まっています。

一方、多くの真田氏関連の史跡等については、地域内に広く点在し、相互の結びつきが希薄な状況にあり、必ずしも観光客に対して魅力のある「真田氏発祥の郷」を提供できていないのが実情です。

このような現状を踏まえ、「真田氏発祥の郷」であるこの地域の強みを最大限に活かした特色ある観光振興を地元住民と行政が連携を図って推進していく必要があります。

そこで、立地に優れた「ゆきむら夢工房・新鮮市」を地域内の観光拠点として整備するとともに、地域内の観光資源を有機的に結びつける施策を提言し、以下の項目を実施することを提案します。

夢工房にバス停の設置

夢工房を拠点とした地域内観光施設への交通手段の確保

夢工房への案内標識・看板などの整備、モニュメント等の設置

夢工房のトイレの増設、飲食施設・駐車場の整備

夢工房・新鮮市とふれあいさなだ館の連携を強化

農業振興と連携させた新鮮市の整備

夢工房以外の観光資源の案内看板・駐車場・トイレ等の整備

観光資源の維持管理に対する施策の実施

知名度のある「幸村(ゆきむら)」を活かした地域特有のブランドを確立

地域に潜在する伝統行事等を新たな観光資源として発掘

(別紙)

## 2 菅平高原スポーツ施設等の整備

菅平高原は、各種スポーツ合宿のメッカとして、わが国のトップアスリートが数多く訪れるなど、全国的な知名度を誇る地域です。しかしながら、現在の経済情勢に加え、スキー客(スキー人口)の大幅な減少、合宿誘致の地域間競争の激化など、菅平高原を取り巻く環境は厳しい時代を迎えております。

菅平高原がスポーツ観光地として進んでいく方向性として、他にはない菅平特有の魅力の向上をより一層図っていくためには、行政と民間が一体となった観光振興を推進していく必要があります。

その上で、菅平高原におけるスポーツ施設の整備・拡充は極めて重要な施策と考えることから、次の項目について提案します。

菅平高原におけるスポーツ観光の代表的な施設である「サニアパーク菅平」周辺への人工芝グラウンドの整備、駐車場の増設及び投擲場等の整備  
国際的なスポーツイベントが開催でき、菅平高原の核となる総合的な複合施設の整備